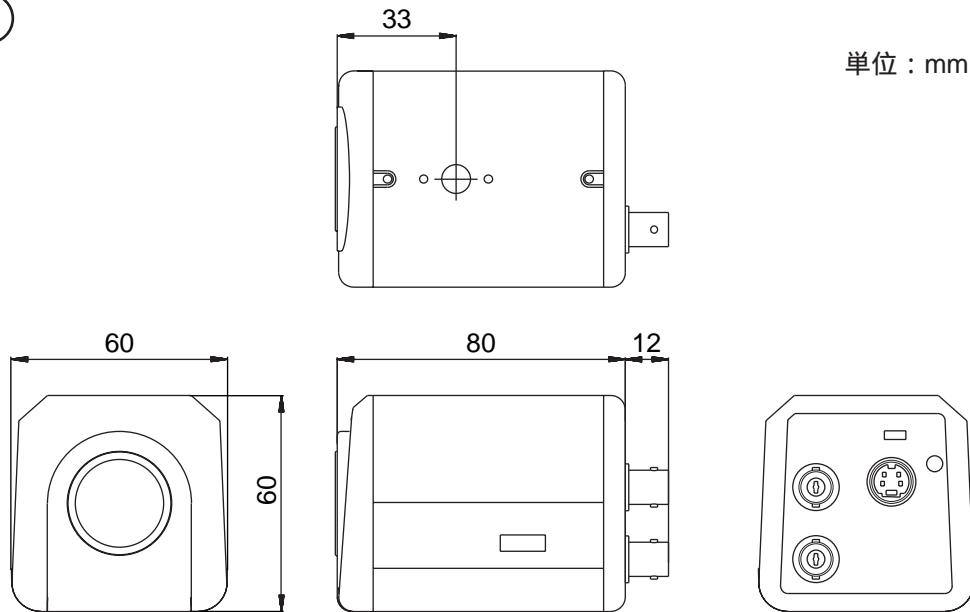


取扱説明書

外観



仕様

項目	TSE283	
電源仕様	専用コントローラよりDC電源を供給	
消費電流	250mA	
撮像素子	1/3インチ 白黒CCD	
有効画素数	水平510 垂直492	
撮像サイズ	水平4.90mm 垂直3.69mm	
走査方式	2:1インターレース	
走査周波数	水平15.734kHz 垂直59.94Hz	
同期方式	専用コントローラによる外部同期	
解像度	水平380TV本 垂直350TV本	
S / N	50dB以上	
標準被写体照度	35 lx	(F1.4 白熱灯)
最低被写体照度	0.3 lx	(F1.4 白熱灯)
	0.15 lx	SENS UP時 (F1.4 白熱灯)
A G C	内蔵	
逆光補正 (BLC)	あり	出荷時 (切)
オート電子シャッター	あり	出荷時 (切) (1/60 ~ 1/10000)
感 度	あり	出荷時 (切)
フリッカレス	あり	出荷時 (切) (1/100s電子シャッターによる)
配線距離	あり	出荷時 (ショート)
マイク	あり	出荷時 (切)
DC / VIDEO	BNC	
V I D E O	BNC VS 1V(p-p) 75	
アイリス	4P ビデオ方式 / DC方式対応 (電流max30mA)	
レンズマウント	CSマウント	
外 観 色	白	
文 字 色	グレイ	
外形寸法	幅60mm 高さ60mm 奥行き80mm	
質 量	約300g	
動作周囲温度	- 10 ~ 50	
動作周囲湿度	30% ~ 90%	
付 属 品	取扱説明書 保証書 4Pコネクタ (アイリス用)	

安全上のご注意

安全にお使いいただくために - 必ずお守りください

この「取扱説明書」および製品（本機）への表示では、本機を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。

ご使用前によく読んで大切に保管してください。

次の表示と図記号の意味をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味



は、注意（警告を含む）を示します。

具体的な注意内容は、 の中や近くに文章や絵で示します。

左図の場合は、「感電注意」を示します。



は、禁止（してはいけないこと）を示します。

具体的な禁止内容は、 \の中や近くに文章や絵で示します。

左図の場合は、「分解禁止」を示します。



は、強制（必ずすること）を示します。

具体的な強制内容は、 の中や近くに文章や絵で示します。

左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜け」を示します。

⚠ 警告

<p>万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに専用コントローラの電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。</p>	 注意  プラグを抜け
<p>万一、内部に水などが入った場合は、まず専用コントローラの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>	 プラグを抜け
<p>万一、異物が機器の内部に入った場合は、まず専用コントローラの電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。（特にお子様のいる環境ではご注意ください。）</p>	 プラグを抜け
<p>画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに専用コントローラの電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店に修理をご依頼ください。</p>	 プラグを抜け
<p>万一、機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、専用コントローラの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>	 プラグを抜け
<p>機器の裏ぶた・キャビネット・カバーを外さないでください。 内部の点検・整備・修理は、販売店にご依頼ください。</p>	 分解禁止
<p>機器を改造しないでください。 火災・感電の原因になります。</p>	 分解禁止
<p>ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。</p>	 禁止
<p>機器に水が入ったりしないよう、またぬらさないようご注意ください。 火災・感電の原因となります。 雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。</p>	 禁止
<p>風呂場では使用しないでください。 火災・感電の原因となります。</p>	
<p>雷が鳴り出したら、同軸ケーブルや専用コントローラの電源プラグには触れないでください。 感電の原因となります。</p>	 接触禁止

⚠ 注意

湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。



調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所に置かないで
ください。
火災・感電の原因となることがあります。



移動させる場合は、専用コントローラの電源スイッチを切り、電源プラグ
をコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外し
たことを確認の上、移動してください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



お手入れの際は、安全のため専用コントローラの電源プラグをコンセント
から抜いて行ってください。
感電の原因となることがあります。



機器を長時間、ご使用にならないときは、安全のため専用コントローラの
電源プラグをコンセントから抜いてください。



設置および配線工事には経験と技術が必要ですので販売店にご相談くださ
い。



レンズで太陽を見ないでください。目を傷めたり、失明する場合があります
。太陽光など強い光の当たる場所に置かないでください。光が焦点に集
まって火災になる場合があります。

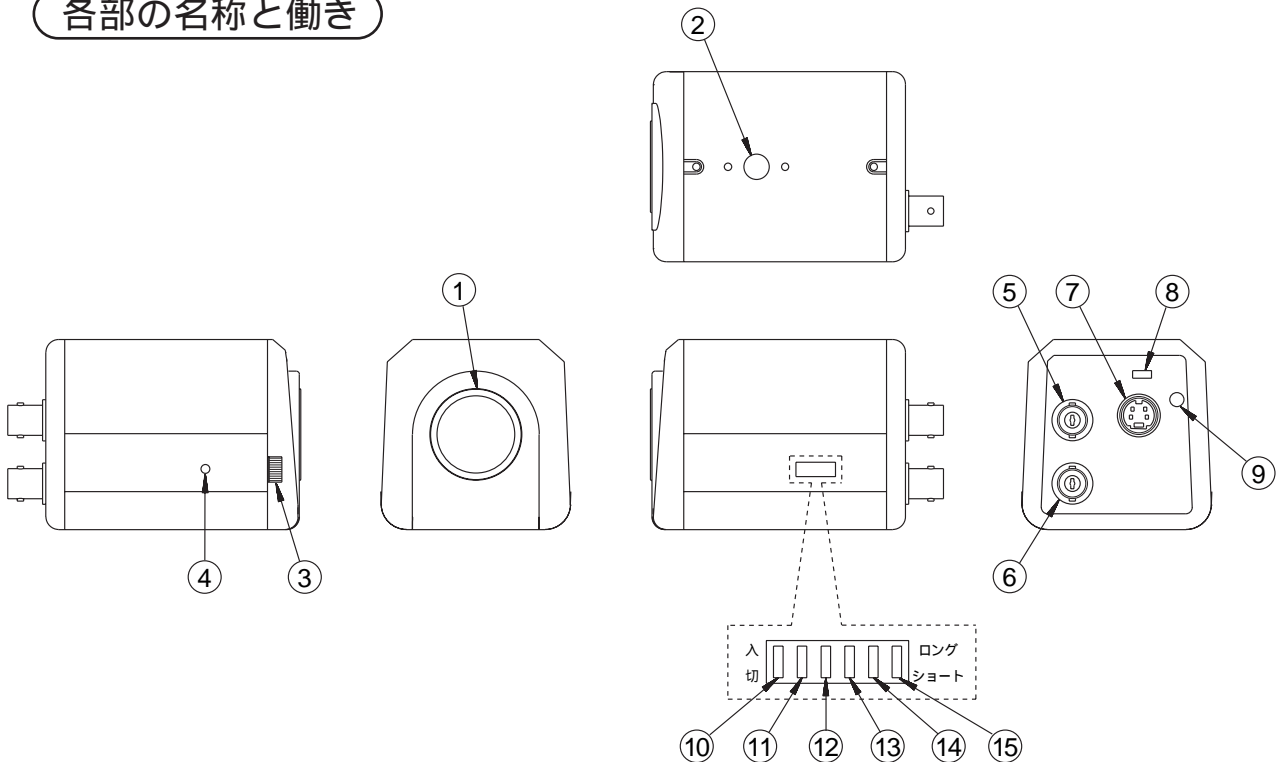


カメラキャップや付属品を口に入れたり、飲み込まないでください。
けがや窒息の危険があります。



専用コントローラの取扱説明書の安全上のご注意の指示にも従ってください。

各部の名称と働き



① C S レンズマウント

C S マウントレンズを取り付けます。

② 三脚取付ネジ (1 / 4 - 2 0 U N C)

カメラを三脚に固定するとき使用します。三脚取付ネジはカメラの上面および底面の二カ所あります。ネジの深さは 8 mm です。

③ フォーカス調節ツマミ

レンズのバックフォーカスを調整します。

④ マイク

音声入力用のマイクロホンです。

⑤ V I D E O 端子

映像出力端子です。モニターテレビなどに接続します。BNC 接栓です。

⑥ D C / V I D E O 端子

専用コントローラと接続します。BNC 接栓です。

⑦ アイリス端子

オートアイリスレンズを使用するとき接続します。

⑧ オートアイリス切換スイッチ

DC方式のオートアイリスレンズを使用する場合は、スイッチを「DC」側にします。ビデオフィードバック方式のオートアイリスレンズを使用する場合は、スイッチを「VIDEO」側にします。

・オートアイリスがビデオ側の場合は、逆光補正 (BLC) が十分に機能しないことがあります。

⑨ A L C レベル調整ポリウム

オートアイリススイッチが「DC」側の場合、ビデオ出力を調整します。

⑩ マイク入切スイッチ

音声入力する場合に「入」側にします。

⑪ フリッカレススイッチ

電源周波数50Hz地域の照明下において、フリッカが目立つ場合、スイッチを「入」側に切換えます。(スイッチが「入」側の場合、感度が低下します。)

⑫ オート電子シャッタスイッチ

本カメラの電子シャッタは、出荷時に「切」側 (1/60s) に設定されています。このスイッチを「入」側に切り換えることにより、固定絞りレンズを使用した時に被写体の光量に合わせ1/60sから1/10000sまで自動的に電子シャッタが働き、露出を適度に合わせることができます。

- ・高速シャッタ時は、十分な光量が必要です。
- ・高速シャッタ時は、蛍光灯照明下で撮影すると、フリッカが出ることがあります。
- ・自動絞りレンズを使用する時は、オート電子シャッタスイッチを「切」側にしてください。「入」側で使用する場合は、蛍光灯照明下ではフリッカが大きくなる場合があります。

⑬ 感度スイッチ

感度を上げる場合に「入」側にします。

⑭ 逆光補正スイッチ

逆光のため、被写体が明確に撮影できない場合は、「入」側にします。

- ・オート電子シャッタ動作時、あるいはオートアイリスレンズ使用時のみ、この機能は働きます。
- ・周辺部とのコントラスト差が大きい時には、十分な効果が得られない場合があります。

⑮ 配線距離切換スイッチ

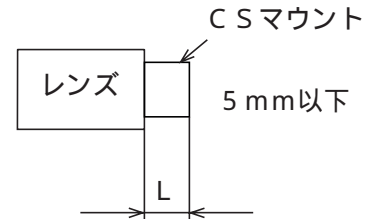
本機とコントローラを接続する同軸ケーブルの長さにより切換えます。

レンズについて

最適な映像が得られるように、レンズのアイリスとフォーカスを調整します。

1. 使用可能なレンズ

C Sマウントのレンズで、マウントのベアリング表面からの長さ「L」(イラスト参照)が5mm以下(飛び出している場合)のものを使用してください。



2. オートアイリスレンズを使用する場合

- ・ DC方式のオートアイリスレンズを使用する場合は、カメラ背面のオートアイリス切換スイッチを「DC」にして、レンズのプラグをカメラの背面にあるアイリス端子に接続します。
- ・ ビデオフィールドバック方式のオートアイリスレンズを使用する場合は、カメラ背面のオートアイリス切換スイッチを「VIDEO」にして、レンズのプラグをカメラの背面にあるアイリス端子に接続します。

(レベル調整については、レンズの取扱説明書を参照してください。)

アイリス端子

IRIS端子	DC側	VIDEO側
1	Control +	+9V IRIS電源 (電流最大30mA)
2	Control -	GND
3	Drive +	0.8V (p-p) IRIS映像信号
4	Drive - (GND)	GND

アイリスプラグ組立方法

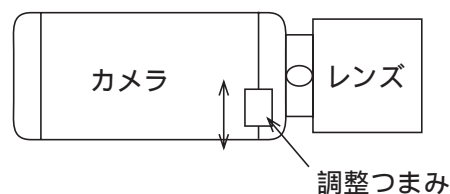
(左図の矢印方向から見たピン配置を示す)

- ・ オートアイリスレンズを使用する場合は、カメラ左側面のフリッカレススイッチを「切」にしてください。(出荷時はフリッカレススイッチが「切」になっています。)

3. ズームレンズを使用する場合（バックフォーカスの調整）

出荷時のカメラは、標準的なバックフォーカス位置にセットされています。ただし、ズームレンズの種類によっては再調整が必要です。

再調整するときは、調整つまみでレンズのバックフォーカスを調整します。イラストのように調整つまみをどちらかの方向に回します。次の指示に従ってください。

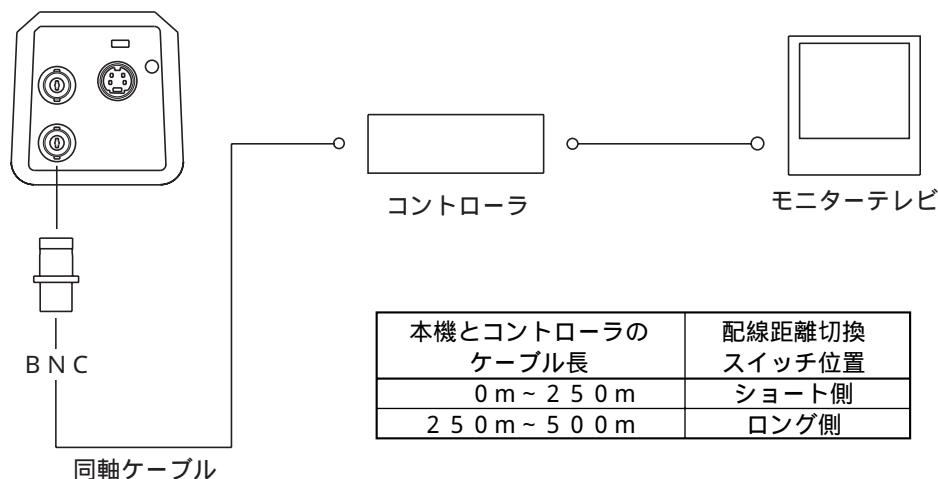


1. 被写体を特定の距離に固定し、使用するズームレンズのフォーカス・リングをセットします。
2. ズームレンズを完全なTELE位置にセットし、ズームレンズのフォーカス・リングを回して最高の焦点位置を得ます。
3. 次に、ズームレンズを完全なWIDE位置にセットし、同じように調整つまみを回して最高の焦点位置を得ます。
4. ズーム範囲で焦点が合うまで、2.と3.を繰り返します。

注意：レンズの重量が1kg（2.2ポンド）を超える場合、カメラはレンズで支えてください。
カメラ取付ネジで支えないでください。
バックフォーカスの調整は、必要な場合以外行わないでください。

接続方法

1. 接続前にすべての機器の電源を切ります。
2. カメラにレンズを取り付けます。（6ページの「レンズについて」を参照してください。）
3. カメラのDC/VIDEO端子と、専用コントローラのカメラ端子と接続します。BNC接栓を使用してください。



注意：本機とコントローラの接続ケーブルには、電源、映像信号、同期信号が多重されています。ケーブル補償器、映像分配器等をケーブルの途中に接続して使用することはできません。

注意：本機とコントローラ間の最大ケーブル長は、使用する同軸ケーブルの種類によって異なります。コントローラの取扱説明書にしたがってください。

注意：音声対応機能付コントローラ以外に接続した場合は、必ずマイクスイッチを「切」にしてください。「入」で使用すると、映像に乱れが生じる場合がありますのでご注意ください。

注意：本機は、被写体によっては電源入力直後から正常な映像になるまでに若干時間がかかることがあります。

保証と修理サービスについて

保証書について

保証書は販売店からお渡しします。
必ず「販売店名・購入日」などの記入をお確かめください。
保証内容をよくお読みの上、大切に保存してください。

保証期間：お買上げ日から1年



保証期間中に修理を依頼される場合は、お買上げの販売店にご連絡ください。
保証書の記載内容により、販売店が修理いたします。

ご連絡していただきたい内容

- ・ご住所・ご氏名・電話番号
- ・製品名・型名
- ・ご購入日（保証書をご覧ください）
- ・故障内容
- ・異常の状況（できるだけ詳しく）

保証期間経過後、修理を依頼される場合は、お買上げの販売店にご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により、有料で修理いたします。

保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

	愛情点検		長年ご使用の機器の点検をぜひ！		<small>熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により製品が劣化し故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。</small>
	このような症状はありませんか	電源スイッチを入れても映像が出ない。 コードを動かすと通電しないことがある。 映像が時々、消えることがある。 変なにおいがしたり、煙が出たりする。 電源スイッチを切っても、映像が消えない。		ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談下さい。

E/MO 株式会社 エルモ社

本社	名古屋市瑞穂区明前町6番14号	☎(052)811-5131	〒467-8567
東京本部	東京都港区三田3丁目7番16号	☎(03)3453-6928	〒108-0073
東京支店	東京都港区三田3丁目7番16号	☎(03)3453-6471	〒108-0073
名古屋支店	名古屋市瑞穂区明前町6番14号	☎(052)824-1571	〒467-8567
大阪支店	大阪府中央区東高麗橋2番4号	☎(06)942-3221	〒540-0039
九州支店	福岡市博多区下川端町10番10号	☎(092)281-4131	〒812-0027
北海道営業所	札幌市北区北12条西2丁目4番地	☎(011)717-7221	〒001-0012
仙台営業所	仙台市青葉区中央4丁目10番14号 エノトセーフビル	☎(022)266-3255	〒980-0021
横浜営業所	横浜市保土ヶ谷区岩井町11番地 ダイアナプラザ保土ヶ谷	☎(045)333-9142	〒240-0023
広島営業所	広島市中区中町8番12号 広島グリーンビル	☎(082)248-4800	〒730-0037

6X1NHLE01